



- 自ら考え自ら学ぶ生徒
- 進んで活動し高め合う生徒
- 生命を大切にし、思いやりのある生徒

対話から広がる、深い学びのカタチ

～「質の高い対話と協働」を通した日々の授業実践～

本校では、「質の高い対話と協働を通して自らを磨き続けることができる生徒の育成」を重点教育目標に掲げ、日々の授業づくりに取り組んでいます。

教室を覗くと、自分の考えの根拠を丁寧に説明し、友達の意見にじっくり耳を傾けるなど、共に課題に向き合う生徒たちの姿が見られます。本校が目指す「質の高い対話」とは、単に意見を交わすだけでなく、自分とは異なる視点を取り入れ、自分の考えをより深いものへとアップデートしていく営みです。

グループワークでは、一人では解決が難しい問いに対しても、個人端末を有効活用しながら互いに知恵を出し合い、納得のいく答えを探究する「協働」が活発に行われています。「なるほど!」「そういう考え方もあるね」といった声があちこちから上がり、対話を重ねる中で自分の学びを客観的に振り返り、さらに高みを目指そうとする頼もしい姿勢が育ちつつあります。

仲間とともに問い、考え、高め合う経験は、将来にわたって自らを磨き続けるための大きな糧となります。これからも、生徒一人ひとりが主体的に生き生きと学べる授業実践を推進してまいります。保護者・地域の皆様におかれましても、子どもたちの成長を温かく見守っていただければ幸いです。

グループワークの様子



端末を有効活用した学びの様子



○中体連新人戦壮行会(8月27日)

8月27日、中体連新人戦壮行会を行いました。先輩からバトンを受け継ぎ、主役となった2年生を中心に、ユニフォーム姿の選手たちが堂々と決意を述べました。吹奏楽部による力強い行進曲の演奏に乗せて入退場し、新チームとしての決意を新たにした選手たち。大会ではそれぞれが日ごろの練習の成果をいかに発揮し、各部大活躍でした。今後も期待しています。



○生徒会役員選挙(9月17日)

生徒会役員選挙を行いました。立候補者たちは学校をより良くしたいという熱い思いと公約を堂々と訴え、立会演説会に臨みました。真剣な表情で耳を傾け、一票を投じた全校生徒の姿からは、学校の未来を自分たちの手で創るという頼もしい自覚が感じられました。新役員を中心に、さらなる前進を期待しています。



想いを重ね、輝いた一日 ～第53回 文化祭～

10月2日、「共創 ～Respect each other～」をテーマに第53回文化祭を開催しました。当日は多くの保護者・地域の皆様にご参会いただき、温かい拍手を賜り心より感謝申し上げます。

生徒会主体の華やかなオープニングで幕を開けた本行事。美しいハーモニーが響いた合唱コンクールや、学びを深めたプレゼン発表、初挑戦の「ミクストメディア展示」など、生徒一人ひとりの個性が輝きました。工夫あふれるフィナーレまで全校が一体となり、最高の文化祭を創り上げました。互いを尊重し高め合った経験を、今後の学校生活につないでまいります。

ミクストメディア



合唱コンクール



生徒会オープニング



令和8年度 全国学力・学習状況調査 本校の結果の概要

～恵明中学校の結果から見えてきたこと～

4～5月に実施された「全国学力・学習状況調査」について、本校の結果の概要をお知らせします。今回の結果を、単なる平均正答率の比較ではなく、生徒の学びの姿を捉え、今後の授業改善につなげるための資料として活用していきます。

1 今回の調査について

今回の調査で国が示した学力の課題は、
“情報を整理し、根拠を説明する力”です。



恵庭市の調査結果



問題・正答・解説

2 各教科の結果概要

教科	全国比較	結果の強みと特徴
国語	全国平均をやや上回る	特に「書くこと」が強み。資料や文章から必要な情報を捉えて自分の考えを表現する力が身についています。
数学	全国平均をやや上回る	特に「図形」が強み。数学的な知識・技能を活用して問題を解決する力が身についています。
英語	ほぼ同程度	情報を読み取って判断する問題が強み。複数の情報を関連付けて要点を捉える力が身についています。

【今回の結果を一言でいうと】国語・数学では、これまで進めてきた授業改善の成果が表れました。一方、3教科共通して「説明する力」「根拠を示す力」「自分の力で表現する力」を、さらに伸ばしていくことが今後の課題です。

3 国語の結果分析：「書く力」を強みに、「読む力」をさらに

領域別評価	◎全国平均を上回っている：書くこと ○全国平均をやや上回っている：話すこと・聞くこと・読むこと・思考・判断・表現 △全国平均とほぼ同程度：知識・技能
◎今回の調査におけるよさ	「書くこと」「話すこと・聞くこと」「読むこと」の各領域で、全国平均を上回っています。特に、 <u>資料や文章から必要な情報を捉え、自分の考えを表現する力が身についてきています。</u>
△今回の調査における課題	<u>文章や資料から複数の情報を関連付けて考えたり、根拠を明確にして自分の考えを書いたりする力に課題が見られます。</u>
◇指導改善の方向性	文章や資料を根拠として考えを形成し、 <u>「なぜそう考えたのか」を自分の言葉で説明する活動</u> を充実させ、読むことと書くことを結び付けた学習を進めます。

国語でよくできていた問題：3(2)「気持ちがより伝わるように、表現を工夫する力」

「私の気持ちもどんどん明るくなって、ペダルをこいだ。」という文について、気持ちがより伝わるように表現を工夫して文を完成させる問題です。本校の正答率は、全国の正答率を上回りました。言葉の使い方を工夫し、読み手に気持ちが伝わる表現を考える力が発揮されています。 ※調査問題・正答・解説は QR コードから

4 数学の結果分析：「図形で考える力」が大きな強み

領域別評価	◎全国平均を上回っている：図形、思考・判断・表現 ○全国平均をやや上回っている：数と式、知識・技能 △全国平均とほぼ同程度：関数、データの活用
◎今回の調査におけるよさ	全体の平均正答率が全国平均を上回っており、 <u>数学的な知識・技能を活用して問題を解決する力</u> が身に付いています。特に、数量や図形について考え、必要な情報を捉えて解決する力に成果が見られます。
△今回の調査における課題	<u>関数の領域や、問題を解決する過程や理由を説明すること</u> に課題が見られます。知識・技能を活用して、考えを表現する力をさらに伸ばす必要があります。
◇指導改善の方向性	表・式・グラフなどを関連付けながら、「どのように考えたか」「なぜそうなるのか」を説明する活動を充実させ、数学的に考え表現する力を育てます。

数学でよくできていた問題： 8(2)「図形の性質を根拠に、筋道を立てて証明する力」

作図した角について、三角形の合同を基に、角の大きさが等しいことを証明する問題です。図形の性質を活用し、根拠を基に筋道を立てて考える力が発揮されています。今後は、「なぜそういえるのか」を自分の言葉で説明する力も伸ばしていきます。 ※調査問題・正答・解説は QR コードから

5 英語の結果分析：「情報を読み取って判断する力」に強み

領域別評価	△全国平均とほぼ同程度：聞くこと・読むこと・書くこと・話すこと
◎今回の調査におけるよさ	聞いたり読んだりした情報から、 <u>必要な情報を取り出し、内容を判断する力</u> が身に付いています。複数の情報を関連付けて、発表の要点を捉えたり、条件に合う情報を読み取ったりする問題でよさが見られます。
△今回の調査における課題	<u>得た情報を基に、自分の考えや経験を英語で書いたり話したりすること</u> に課題が見られます。
◇指導改善の方向性	「分かる・選べる」段階から、「 <u>自分で考え、英語で表現する</u> 」段階へと学びを広げ、短い英文を書く・話す活動を継続的に取り入れます。

英語でよくできていた問題： 8 「必要な情報を読み取り、条件に合うものを選ぶ力」

友達からのメッセージを読み、希望する条件に合うウェブサイトを選ぶ問題です。複数の情報から必要な内容を読み取り、条件に合うものを判断する力を発揮しました。今後は、自分の考えや経験を英語で表現する力へ伸ばしていきます。 ※調査問題・正答・解説は QR コードから

6 3教科の結果に基づく、各教科の授業改善の方向性

本校では、対話や ICT を活用して他者の考えを共有し、自分の考えを深める授業づくりを進めています。今回の結果を踏まえ、説明・記述・根拠を示す場面をさらに日常化していきます。

7 質問紙調査から見える「恵明中生の姿」と今後の取り組み

◎全国と比較して見られたよさ

- ・「将来の夢や目標」をもつ生徒がかなり多い。
- ・「いじめは絶対にいけない」と考える生徒が多い。
- ・「人が困っているときに助ける」生徒が多い。

将来への見通しや他者を大切にできる意識など、生徒の豊かな成長がうかがえます。

◎全国との比較から見えてきたこと

- ・「困ったときに学校の大人に相談できる」と答えた生徒が全国平均よりかなり少ない。
- ・授業で、先生から「よいところや、前よりできるようになったこと」を伝えられた生徒は全国平均よりかなり少ない。また、学習のうまくできていないところや改善方法を教えてもらった生徒も全国平均よりかなり少ない。

安心して相談できる関係づくりと、学習状況に応じた具体的な声かけや助言の充実が課題です。

◎これから大切にしていきたいこと

- ・生徒が安心して過ごせる教育環境を整え、日頃から声をかけ合い、困りごとの早期把握と組織的な対応に努めます。
- ・一人一人の理解度や課題に応じた学習支援と、よさや成長、改善点についての具体的な助言を充実させるとともに、対話や協働を通して学びを深める授業を推進します。生徒が自ら学び方を調整し、学びの成果や成長を実感できるよう、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図ります。

8 保護者のみなさまへ

全国学力・学習状況調査は、単に順位をつけるためのものではなく、生徒の学びをよりよくするための一つの資料です。本校では、今回明らかになった成果を大切にしながら、課題を次なる授業改善・生徒支援につなげてまいります。ご家庭におかれましても、「何点だった？」という結果だけでなく、「どんな問題ができた？」「どう考えたの？」「次は何を頑張りたい？」といった前向きな会話を通して、お子様の学びの過程を温かく支えていただければ幸いです。

恵庭市立恵明中学校

〒061-1407 恵庭市黄金北4丁目1番地の1 TEL(0123)33-3001 FAX(0123)33-7103

<https://www.i0.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=0120006>

学校ホームページ ⇒



「いじめ」を根絶するために…

恵明中学校では、「恵明中学校いじめ防止基本方針」に基づき、いじめの未然防止と早期発見、迅速で組織的な対応を進めています。誰もが安心して学べる学校づくりに向け、ご理解とご協力をお願いします。

「いじめ防止基本方針」の詳細は→

